

Tamura Future ワークショップ 中間報告

～「まちづくりを“ジブンゴト”に」。これからの田村市を描くワークショップ～

これからのまちづくりには市民参画が必要不可欠であり、積極的に参画できるワークショップでまちづくりのアイデアを検討し、協働のきっかけづくりにつなげます。また、「まちの未来について考えてみる」「地域のイベントに参加してみる」といった一人ひとりの小さな一歩が、まちにとって大きな変革を生みだします。

1 実施概要

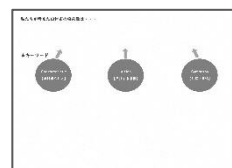
実施目的	将来像の検討とまちづくりについての評価、まちづくりへの関心の醸成
実施時期/ 参加人数	令和3年2月～令和3年10月まで月1回（計7回） ※ 新型コロナウイルス感染症拡大のため、令和3年3月と5月は中止
	第1回：2月28日（日） 13：00～15：00 53名 第2回：4月25日（日） 8：30～12：00 51名 第3回：6月27日（日） 10：00～12：00 52名 第4回：8月1日（日） 10：00～12：00（予定） 第5回：8月29日（日） 10：00～12：00（予定） 第6回：9月19日（日） 10：00～12：00（予定） 第7回：10月●●日（日） 10：00～12：00（調整中）
実施時間	1回につき2時間程度（第2回のみフィールドワークのため、午前半日）
実施場所	田村市役所 多目的ホール ※ 開催日時等に応じて、会場変更や2会場となる場合あり

2 参加者と募集方法

区分	募集方法
①コアメンバー	協働による活動実績をふまえ、各課へ対象者の推薦を依頼。
②団体・ネットワーク	団体ヒアリング調査や①からつながりでチラシにより協力を依頼。
③高校生・大学生・専門学校生	船引高校のほか郡山広域圏内高校、福島大学、FSG専門学校に協力を依頼。
④公募	市民アンケート調査や市HP、広報紙等多様な機会を通じて参加者を募集。応募者多数だったため、抽選を実施。 （田村市内在住または通学・通勤している18歳以上の方）
⑤市職員	若手職員（ワーキングチーム）の参画を依頼。 ※ 第1回、第3回、第5～6回では、各部取り組み等を説明

3 プログラム（状況に応じて、変更の可能性あり）

第1回	テ ー マ：	「田村市」ってどんなまち？
	目的：	総合計画への理解と市の現状の整理・把握
	実施内容：	（市の現状や総合計画の概要説明） ①「田村市の良いところ、困っているところ」を付せんを書いてもらう ②書いた付せんを田村市の地図の該当する箇所に貼ってもらう ③各部の取り組み説明（市職員）
	計画への反映：	まちの現状として反映
第2回	テ ー マ：	実際に「田村市」を見てみよう！
	目的：	実際にまち歩きし、「田村市」の魅力の再発見・共有
	実施内容：	①市役所に集合し、フィールドワークコースへ移動 ②公共施設や観光施設等を見学する。
	計画への反映：	第4～6回に向けた事前学習
第3回	テ ー マ：	「田村市」、どんなまちにしたい？
	目的：	これからの田村市のキーワード抽出
	実施内容：	（市民アンケート調査結果の報告） ①ワークシートを使って、田村市のキーワードを考えてもらう。 ②ワークシートのキーワードを基に各グループで将来像（キャッチフレーズ）を考えてもらう ③各部の取り組み説明（市職員）
	計画への反映：	将来像作成の際の参考とする
第4回	テ ー マ：	SDGs とは？【国立環境研究所様より講演】
	目的：	「SDGs」について学ぶ、分野別の課題や取り組み検討に向けた視点の共有
	実施内容：	①国立環境研究所様より講演 ②国立環境研究所様の運営によるグループワーク ③次回予告
	計画への反映：	次回以降の分野別の課題や取り組み検討に向けた事前学習



第5・6回	テ ー マ：	「田村市」を見つめてみよう
	目的：	市民が感じている課題や今後必要な取り組みの抽出
	実施内容：	①各分野の現状・課題をワーキングチーム職員より説明 ②説明を聞いたうえで、各分野で設定したテーマについて、右のワークシートへ意見を記入する。 ③ワークシートを参考にグループで自由に意見交換をする。 (①～③を各回2分野ずつ行う、計45分×2) ※①～③を2回分同様に実施
	計画への反映：	基本計画策定の基礎資料とする



第7回	テ ー マ：	私たちには何ができるだろう？
	目的：	市民のまちづくりへの意識醸成
	実施内容：	①基本計画を基に自分たちができることについて意見を出し合う ②出した意見を右のワークシートに書いてもらう
	計画への反映：	市民の役割として基本計画に記載

4 第1回WS (2/28)

(1) 実施概要 (P2 より)

第1回	テ ー マ :	「田村市」ってどんなまち？
	目的 :	総合計画への理解と市の現状の整理・把握
	実施内容 :	(市の現状や総合計画の概要説明) ①「田村市の良いところ、困っているところ」を付せんに書いてもらう ②書いた付せんを田村市の地図の該当する箇所に貼ってもらう ③各部の取り組み説明(市職員)
	計画への反映 :	まちの現状として反映

(2) 実施結果 (一部抜粋)

良いところ

- ・ 自然が豊か
 - ・ 子育てしやすい
 - ・ 人情味がある、つながりがある
 - ・ 観光資源が豊富(場所や食べ物)
 - ・ 災害が少ない、地盤が強い
 - ・ 交通アクセスが良い
- 等

困っているところ

- ・ 空き家が多い、街灯が少ない
 - ・ 子どもの遊び場が少ない、少子化
 - ・ 若年層の流出、農業の担い手不足
 - ・ 働く場が少ない、地元企業の減少
 - ・ 商店街の活性化
 - ・ 車がないと不便、駅が寂しい
- 等



5 第2回WS（4/25）

(1) 実施概要（P2 より）

第2回	テ ー マ：	実際に「田村市」を見てみよう！
	目的：	実際にまち歩きし、「田村市」の魅力の再発見・共有
	実施内容：	①市役所に集合し、フィールドワークコースへ移動 ②公共施設や観光施設等を見学する。
	計画への反映：	第4～6回に向けた事前学習

※ フィールドワークコース

滝根・大越コース	都路コース	常葉・船引コース
市役所 集合・出発		
移動	移動	移動
ニューフロンティア(株) 視察	空き別荘エリア 視察	スカイパレスときわ 視察
移動	移動	移動
がもう農園 視察	亀石 視察	アニマルフォレストうつしの森 視察
移動	移動	移動
田村市パークゴルフ場 視察	グリーンパーク都路 視察	
移動	移動	
テラス石森 視察		
移動		
市役所 到着・解散		

(2) フィールドワークの様子



5 第3回WS (6/27)

(1) 実施概要 (P2 より)

第3回	テ ー マ :	「田村市」、どんなまちにしたい？
	目的 :	これからの田村市のキーワード抽出
	実施内容 :	(市民アンケート調査結果の報告) ①ワークシートを使って、田村市のキーワードを考えてもらう。 ②ワークシートのキーワードを基に各グループで将来像(キャッチフレーズ)を考えてもらう ③各部の取り組み説明(市職員)
	計画への反映 :	将来像作成の際の参考とする



(2) 実施結果 (一部抜粋)

①キーワード

Characteristic 【田村市らしさ】	Vision 【目指す未来像】	Sympathy 【共感・共鳴】
・自然豊か、人情深い ・やりたいことを応援してくれる ・合併前の町村の特色 ・多様性の教育、柔軟な教育ができる ・一つ一つの光るものがあるが、統一性がない 等	・若者に魅力が伝わるまち ・市民が活躍、皆が共に輝ける ・多様性 ・常にチャレンジ精神をもつ ・既存の企業と誘致企業の共存 等	・世代や地域を超えて学び合い ・みんなでつくりあげるまち ・わくわくしたまち ・四季が明瞭、季節によってまちの装飾 ・静か！大自然！ 等

②各グループで考えた将来像(キーワード)

- ・自然豊かな魅力と思いやりにあふれ誇れる田村市
- ・コンパクトシティ、共助、継承と改革、夢をかなえられる環境、自慢できるものがある
- ・投資で発展する街 タムラ
- ・多様性のある、コミュニティがつながれるワクワクした町
- ・田村にあるものを活かして、やりたいこと。若い人を応援する、多様性を認め合うまち～時には強行突破～
- ・笑顔と元気で創り出す 中自然な田村市
- ・「ふれあい」・「安心」・「チャレンジ」の風が吹く 高原都市 田村市

